



決勝レポート

2011/5/15 Rd-1 鈴鹿

天候：うす曇り 気温：25.4℃ 出走台数：16台

観客数：14日(土)14,000人、15日(日)20,500人 合計34,500人

気温25度を越える晴天の春らしい天候のもと、2011年第1戦鈴鹿サーキットは開幕した。ここ鈴鹿での第1戦は220kmのスプリントレース。2011年新タイヤを使用しているレースは全チーム初めて、燃費も含め、レースマネジメント、一瞬のチャンスも見逃さない戦略が重要になる。

スタートで出遅れたポールポジションの山本選手に、抜群のスタートをみせた塚越選手は1コーナーまでに並びかけた。しかしその時、お互い引くに引けず接触。塚越選手はフロントウィングにダメージを受けたもののポジション維持の3番手で、伊沢選手は混乱をくぐり抜けポジションアップの4番手でオープニングラップを周回した。

予選で下位に沈んだ中嶋選手が最も早い4周目にピットイン、その後スタートの混乱で遅れたオリベイラ選手も6周目にピット作業を行った。エンジニアは、早目のピットインでクリアラップを刻むこの2台とのタイム差を考慮し、トップ集団では最も早い12周を終えたところで伊沢選手を、翌13周目には塚越選手をピットインさせたが、共に中嶋選手の先行を許してしまい、全車ピットインが終了した時点で、伊沢選手4番手、塚越選手7番手と、レース序盤でピットインした選手に上位を奪われる結果に。3番手から8番手はタイムも拮抗し随所で好バトルが見られたが、ポジションアップはならず、伊沢選手4位、塚越選手7位でフィニッシュした。

40：伊沢 選手 4位

表彰台も見えるレースでしたが、好調だった予選セットと、フルタンクの決勝セットのバランスが大きく違い、またレース戦略も完全ではなく、さらなる検証と対策が急務です。開幕戦を4位で終える事が出来たのは、昨年からすれば前進ですが、2011年チャンピオンシップを考える上では常に上位でフィニッシュすることが必須事項ですからギリギリの出来ですね。今年は塚越選手と共に、チーム総合力でチームタイトル獲得も目標にしています。開幕戦結果を糧に前進あるのみです。

41：塚越 選手 7位

移籍初のレースは、公式テスト、予選そして決勝と、エンジニアやチームとのリレーションもよく、プログラム通りに進めることができました。しかし予選最後の煮詰めが足りなかったですし、レースではバランスも大きく変わってしまい、またピットストップでもミスがあり、課題も多い週末でした。開幕戦で課題を明確に出来た事は有意義だったと次戦で言えるように、伊沢選手のデータとも比較し、チーム全体で検証してレベルアップをしていきたいです。次戦オートポリスでは、チームメイト同士でトップ争いをしたいです！